

衆議院財務金融委員会ニュース

H30.3.16 第196回国会第7号

3月16日（金）、第7回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・財務省から説明を聴取しました。
- ・小里委員長から発言がありました。
- ・麻生財務大臣から発言がありました。
- ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、村井内閣府大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

義家弘介君（自民）

- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る決裁文書について、財務省は本年3月5日に国土交通省から書換え前の文書の提供を受けたが、そのことを財務省が大臣に報告したのはいつか伺いたい。財務省が大臣に第一報を報告するのは役人の務めだと思いがいかがか。
- ・書換え前の決裁文書には間違いがいくつかあるが、修正しようとは思わなかったのか。なぜこのような公文書作成がまかり通っていたのか伺いたい。
- ・佐川前国税庁長官は、決裁文書書換えの事実を知っていたのか、財務省の見解を伺いたい。また、この問題に対する大臣の受け止め方及び真相究明等の今後の対応に向けた決意を伺いたい。

遠山清彦君（公明）

- ・財務省理財局長が書換え前の決裁文書をずさんと表現しているが、公文書の書き方及び管理の在り方の改革に対する大臣の決意について伺いたい。
- ・財務省の改革は第三者のメスが必要なのではないかとの指摘に対する大臣の所見を伺いたい。
- ・仮想通貨流出再発防止のために、登録申請中のみなし仮想通貨交換業者の登録の可否を速やかに決定する必要があると思いがいかがか。

福田昭夫君（無会）

- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る決裁文書について、財務省は本年3月5日に国土交通省から書換え前の文書の提供を受けていながら、同月8日に書換え後の文書のみを国会に提出したのは何故か。
- ・佐川前国税庁長官が3月9日に突然辞任した理由は何か。決裁文書の書換えへの関与が判明する前の段階で、佐川氏に対する懲戒処分が決められたのは何故か。

- ・佐川前国税庁長官の昨年の通常国会における一連の答弁内容について、大臣は信用していたのか伺いたい。また、答弁内容に誤りがないか、大臣が直接、佐川前局長に問い質すことをしなかったとすれば、大臣の管理者としての能力に疑問が生ずると考えるが、大臣の認識はいかがか。

海江田万里君（立憲）

- ・佐川前国税庁長官が確定申告期間中に辞任せざるを得ない事態になったが、大臣は今でも適材適所の人事だったと考えているのか。
- ・内閣人事局の発足に伴い各省庁の部長級以上は政治任用となり、任命責任は以前より重くなったと考えている。大臣は任命責任についてどのように考えているのか伺いたい。
- ・平成10年に起きた大蔵省の汚職事件では、事件発覚2日後に当時の大蔵大臣が辞任している。これについて大臣はどう考えるか。

川内博史君（立憲）

- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る決裁文書の書換えに係る財務省人事当局における調査とはどのような内容で、誰が行っているのか。
- ・本件において政府は「書換え」という言葉を使っているが、これは「改ざん」であるという認識を財務省が有しているのか確認したい。
- ・安倍内閣総理大臣は本件国有地売却に関し「私や妻がかかわっていたら辞任する」旨の発言をしているが、「かかわっていたら」の内容について理財局で議論は行われたのか。

今井雅人君（希望）

- ・名古屋の市立中学校で講師を務めた前川前文部科学事務次官の授業内容や録音データの提出を名古屋市教育委員会を通じて求めた理由について文部科学省に伺いたい。
- ・学校法人森友学園への国有地売却に関して、地中ごみを試

掘した業者が、ごみが実際より深くあると見せかけた虚偽の報告書を森友学園や財務省近畿財務局から促され作成したと大阪地検の調べに対し証言したとの報道について、事実関係を確認したい。

- ・平成27年4月2日に今治市職員が獣医師養成系大学の設置に関する協議のために首相官邸へ出張した際の面会者について伺いたい。

宮本徹君（共産）

- ・会計検査院は、学校法人森友学園への国有地売却問題について、新たに判明した全ての資料を踏まえて再検査を行うべきと考えるが、会計検査院の見解を伺いたい。
- ・学校法人森友学園の国有地売却に係る決裁文書書換え事案や国会への書換え後の決裁文書の提出事案について、大臣は、自身の責任についてどう認識しているのか。
- ・安倍内閣総理大臣が副会長である「日本会議」や安倍内閣総理大臣夫人に関する記述が、学校法人森友学園への国有

地売却に係る決裁文書から削除されていたが、このことは、昨年の2月17日の衆議院予算委員会において、安倍内閣総理大臣が、私や妻が関与していたら内閣総理大臣も国会議員も辞める旨の答弁をしたからではないのか。

杉本和巳君（維新）

- ・一昨年の人事異動において、佐川前国税庁長官は理財局長に着任したが、大臣は当時、理財局長以外のポストに就かせるという考えを持っていなかったのか。また、大臣は今でも、佐川前国税庁長官を理財局長に就かせたことを適材適所であったと思っているのか。
- ・太田理財局長は、前任の佐川前国税庁長官からどのような業務を引き継いだのか。また、その際、太田理財局長は、決裁文書の書き換えの問題について、引継ぎを受けたのか。
- ・財務省内の監査については、どの部局がどのようなタイミングで行っているのか。

2 関税込率法等の一部を改正する法律案（内閣提出第13号）

- ・麻生財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。